



## ● 最近のベトナムミニ情報

オハラ樹脂工業株式会社

代表取締役 尾原 成夫

はじめに、原稿を依頼された時、何げなく OK した格好でお受けしてしまいました。良く考えてみれば世の中(100年前の現実を見た人は誰?)という不況に見舞われ、我々下請けはなすべもなく注文戴き、生産・納入、それも2月は前年の30%と落ち込んだ中、何を語れば良いか? 思案に就いていました。1973年のトイレットペーパー騒動のオイルショックは記憶に残っていますが、100年に一度の不況には100年に一度の改善を行え!! といわれた方がみえました。

今、各社必死で種々改善活動を実施されている事でしょう。弊社も過去と異なる改善活動を進めています。この様な暗い中、ある人がこれからは中国・インド・アジアを注目・活用しなければ…と言われたことを思い出し、日本の事についての情報はありますが海外は…ということで、ベトナム・ハノイに弊社の工場があり、3月に出向いた時の明暗情報を巻頭言に代えさせて戴きます。

ベトナム社会主義共和国は、九州を除く日本の面積に相当する33.2万km<sup>2</sup>で人口8,000万人のS字型の国です(皆様ご存知のとおりです)。首都ハノイは300万人で中国北京似といわれ南のホーチミン(旧サイゴン)は上海似といわれ観光・工業が古くから盛んです。工業団地は全国で200近くあり、北部では約30団地あります。1月時点の全体稼働率は約50%で0~20%の所もあるようです。1986年ドイモイ経済革命を実効、外国企業の投資等により経済力がつき始め一昨年にはAPECがハノイで開催された事はご存知の通りです。ハノイは大学も多く、政治と教育の中心地です。ハノイにはトヨタ・ホンダ・ヤマハも進出、プリンター等のC社や自動車部品のD社等多数の日系企業が進出中です。一時回復待ちの企業も控えてみえます。昨年の自動車販売台数は一位トヨタで約24,500台、

四位にGM/DAEWOO、五位フォード、六位にホンダ約6,000台、合計11万台でした。2月に最も売れた車種はトヨタ イノーバで1,128台だった。ホンダ シビックは254台だったそうです。

携帯電話も結構盛んでバイクに乗りながら電話している姿は良く見かけられます。見た人にしか判らないバイクの洪水! 最近では自動車も増え、朝夕はすさまじい光景です。APEC以後から信号が増加、信号遵守もされつつあります。我々出張者泣かせは、国際的行事が行われると道路・信号等の環境また治安が強化され安心が増えますが、物価の高騰、特に宿泊費アップは大変です。ベトナムには世界遺産が五ヶ所有り多くの観光客でホテルが取れにくく、またまた宿泊費もアップします。特にハノイは自然遺産のハロン湾があります。「海の桂林」ともいわれエメラルドグリーンの海に突き出た大小約1,600の海食洞を持つ小島、断崖の小島などの奇岩が、静かな波間に浮かぶベトナム随一の風光明媚な景勝地で昔ながらの観光船で島めぐりが行えます。また最近「鍾乳洞」も発見され開放されています。ハノイからは自動車・バスで一日観光となります。ハノイ市内でお勧めは「水上人形劇」です。水中・水上で人形を操る姿は必見です。ベトナムでの食事は安心です。日本食堂も40軒以上・中華・フランス・イタリア料理等も豊富です。「生春巻き・米の麺フォー」等もおいしく食べられます。弊社はハノイで6年目ですが、当初は日本食堂は10軒無かった記憶です。それだけ日本人いや日系企業の進出が増加した『証』と思われるます。

途中から観光案内となり、すみません。景気が回復してくるとまだまだ日系企業の進出増加が見込まれてきます。「侍ジャパンの優勝」で景気回復の起爆剤となることを祈念いたします。